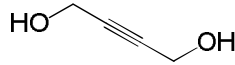
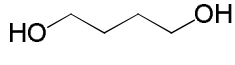
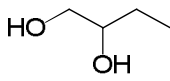
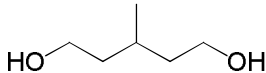


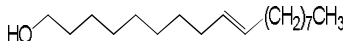
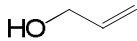
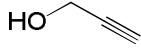
分解性未判定物質の分解性に関する情報について

平成 24 年 1 月 27 日

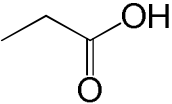
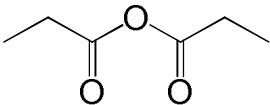
官報公示 整理番号	CAS No.	物質名称	判定案	頁
2-268	110-65-6	ブチン-2-ジオール-1, 4	良分解性	1
2-602	79-09-4	プロピオン酸	良分解性	2
2-689	79-21-0	過酢酸	良分解性	3
2-1146	3926-62-3	モノクロル酢酸ソーダ	良分解性	4

類似化学物質との比較表

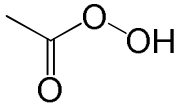
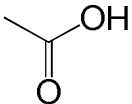
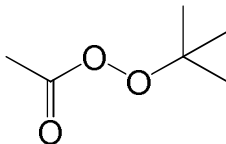
区分	評価対象化学物質	安全性既知の化学物質	安全性既知の化学物質	安全性既知の化学物質
化学物質名	ブチン-2-ジオール-1, 4	1, 4-ブタンジオール	1, 2-ブタンジオール	3-メチル-1, 5-ペンタンジオール
CAS番号	110-65-6	110-63-4	584-03-2	4457-71-0
整理番号	2-268	2-235	2-235	2-240
構造式				
分解性	—	良分解性（平成元年3月17日判定） 分解度試験（標準法：14日間） BODによる平均分解度：78% TOCによる平均分解度：93% GCによる平均分解度：100%	良分解性（平成4年5月25日判定） 分解度試験（標準法：14日間） BODによる平均分解度：96% TOCによる平均分解度：92% GCによる平均分解度：100%	良分解性（平成8年11月28日判定） 分解度試験（標準法：14日間） BODによる平均分解度：73% TOCによる平均分解度：82% HPLCによる平均分解度：93%

区分	安全性既知の化学物質	安全性既知の化学物質	安全性既知の化学物質
化学物質名	オクタデカ-9-エン-1-オール	2-プロペン-1-オール	2-プロピン-1-オール
CAS番号	143-28-2	107-18-6	107-19-7
整理番号	2-258	2-260	2-272
構造式			
分解性	良分解性（平成14年1月29日判定） 分解度試験（標準法：14日間） BODによる平均分解度：82% HPLCによる平均分解度：100%	良分解性（昭和50年11月25日判定） 分解度試験（標準法：14日間） BODによる平均分解度：86.0% TOCによる平均分解度：95.5% GCによる平均分解度：100%	良分解性（平成13年10月3日判定） 分解度試験（標準法：28日間） BODによる平均分解度：95% TOCによる平均分解度：97% HPLCによる平均分解度：100%

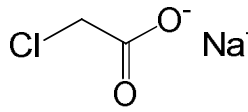
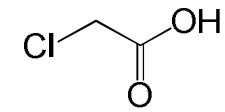
類似化学物質との比較表

区分	評価対象化学物質	安全性既知の化学物質
化学物質名	プロピオン酸	無水プロピオン酸
CAS番号	79-09-4	123-62-6
整理番号	2-602	2-626
構造式		
分解性		<p>良分解性（平成5年12月10日判定）</p> <p>分解度試験（標準法：14日間） BODIによる平均分解度：83% TOCによる平均分解度：100%</p> <p>①水中安定性試験の結果、被験物質は1時間で全量加水分解しプロピオン酸を理論量生成することが確認されたため、プロピオン酸の定量分析を実施している。 ②被験物質は加水分解し、水区でプロピオン酸が理論量生成した。 ③汚泥系では、生成したプロピオン酸は生分解したと考えられる。</p>

類似化学物質との比較表

区分	評価対象化学物質	安全性既知の化学物質	安全性既知の化学物質
化学物質名	過酢酸	酢酸	t e r t -ブチルペルアセタート
CAS番号	79-21-0	64-19-7	107-71-1
整理番号	2-689	2-688	2-2528
構造式			
分解性	—	<p>良分解性（平成5年3月23日判定）</p> <p>分解度試験（標準法：14日間） BODによる平均分解度：74% TOCによる平均分解度：100% HPLCによる平均分解度：100%</p>	<p>難分解性（平成18年7月21日判定）</p> <p>分解度試験（標準法：14日間） BODによる平均分解度：13% GCによる平均分解度：100%</p> <p>①被験物質は水系で一部加水分解し、酢酸（2-0688、良分解性）、t e r t -ブチル=ヒドロペルオキシド（2-0224、難分解性、低濃縮性）を生成した。</p> <p>②被験物質は汚泥系で変化し、t e r t -ブチルアルコール（2-3049 難分解性、低濃縮性）を生成した。なお、生成が予想された酢酸は汚泥によって生分解されたと考えられる。</p>

類似化学物質との比較表

区分	評価対象化学物質	安全性既知の化学物質
化学物質名	モノクロル酢酸ソーダ	モノクロル酢酸
CAS番号	3926-62-3	79-11-8
整理番号	2-1146	2-1145
構造式		
分解性	—	良分解性（昭和51年4月26日判定） 分解度試験（標準法：21日間） BODによる平均分解度：65.0% TOCによる平均分解度：98.8% GCによる平均分解度：100%